

ぶちらいふ

らいふ通信

lifsea
株式会社リフシア

HP / <http://lifsea.co.jp>
らいふ日記 (スタッフブログ)
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2018春Vol.51



リフシア松が丘
柳澤麻衣

作品展示コーナーを担当しました。各事業所から習字や手芸、ポストカード等、大小の作品が集まり大変でしたが楽しかったです。お客様が一生懸命作られた作品を、最大限引き立つよう、程よく全体的に華やかで、作品の周りはすっきりとなるよう工夫しました。また、製作中のお客様の輝いている表情を見て頂きたいと、写真のサイズや背景にも少しこだわりました。

当日はご覧になっているお客様にお話しを聞き、「私もやってみたい」「とても楽しそう」など嬉しいお言葉を頂きました。来年も是非実行委員として参加したいです。

リフシア松が丘
川島 悟

今回は実行委員として、展示物の担当と当日の誘導員をさせて頂きました。各事業所の展示物は暖かい手作り感があって素敵でした。

作品展示コーナーに沢山の方が立ち寄ってくださり嬉しかったです。リフシアフェスタを通じて地域の方々に「リフシア」の事を知って頂けた事が、これからの励みになります。

今年のメインのひとつは、リフシアの介護事業所を利用する皆さんとスタッフが、この催しに向けて作った作品展示コーナーです。製作中の写真も一緒に掲示され、事業所の普段の様子が良くわかりました。

介護保険やサービスのパネルに足をとめ、メモを取る方もいらつしやり、介護のことをもっとポジティブな形で地域に情報発信できたら、皆さまの力になれるのではと思われました。(関連記事は中面に続く)



栄養士に介護食や嚥下調整の相談をする場面もありました

手作りのフォトフレームには一人ひとりの写真が飾られました

昨年12月からプロジェクトチームが準備して取り組みました



来場者に介護に関するアンケート調査も行いました↓



若手スタッフの力で成功させた
リフシアフェスタ

3月25日、ラスカ茅ヶ崎で2回目となるリフシアフェスタを開催
今年は、企画から準備、当日の担当までリフシアの若手スタッフが
中心になって作り上げ、延べ150名以上の参加がありました。



リフシア萩園 岩村早莉

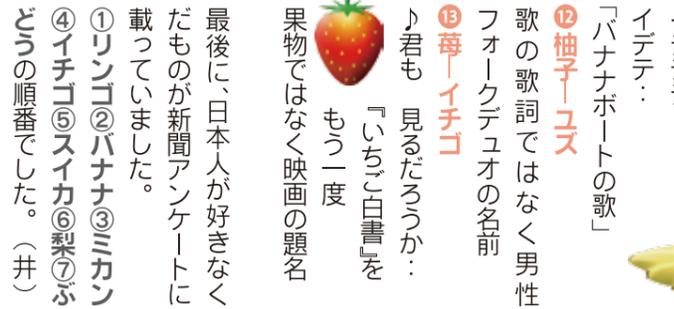
イベントの日が近づくにつれ、沢山のスタッフが声をかけてくれ励みになりました。萩園はかわいい羊毛フェルトの作品を出品しました。限られたお客様の参加でしたので、来年は、もっと大きな作品を皆さんと作りたいたいです。



- 1 林檎ーリンゴ
♪赤いリンゴに唇寄せて
- 2 檸檬ーレモン
♪おさななじみの思いは青いレモンの味がする
- 3 蜜柑ーミカン
♪みかんの花が咲いている 思い出の丘
- 4 葡萄ーブドウ
♪学園祭の季節 街は葡萄の香り



- 5 甜瓜ーメロン
♪コロンソデメロンメロン
- 6 柘榴ーザクロ
「メロンの気持ち」
- 7 無花果ーイチジク
- 8 枇杷ービワ
- 9 西瓜ースイカ
- 10 金柑ーキンカン
♪キンカン塗って又塗って:
(「コーシヤルソング」)
- 11 美色蕉ーバナナ
♪デエーオ・イデエテ
「バナナボートの歌」
- 12 柚子ーユズ
♪君も 見るだろうか:
「いちご白書」をもう一度
- 13 苺ーイチゴ
♪君も 見るだろうか:
「いちご白書」をもう一度



くだものはたくさんありますが、このシリーズも今回で終わります。最後に漢字を整理しておきましょう。

桃・栗・柿・梨などの一文字は別にして、くだもの(果物)の漢字表示は、どうして字画が多いのでしょうか。書けなくても読みだけ覚えておく、便利なので一表にしました。

健康呼ぼう体操③ 「椅子スクワット」で立ち上がりをスムーズにしよう



理学療法士：原田和巳先生がわかり易く解説する「健康呼ぼう体操」のコーナーです。読者の皆さんの質問、取り上げて欲しいテーマがありましたら、ぶちらいふ編集室にお問い合わせください。

座ろうと思ったら...

「椅子から立つ動作」は足の筋力を測るのによく用いられます。足の筋力や骨盤の動きが衰えると椅子からスッと立つことが難しく、手を使って立ったり「腰かけようと思ったら椅子にお尻が届いていなかった」なんてこともよく聞くお話です。



椅子から立ったり座ったりスクワット

椅子から立ち上がる

- ①骨盤を前に傾けて、足の裏に体重を移します。
- ②足の裏に体重が移り、お尻が浮いたら骨盤を上を持ち上げましょう。

椅子へ座る

- ③お尻を後ろへ張り出すようにしましょう。
- ④お尻から椅子へ座るように、股関節に意識を向けながら座っていきます。



※足の筋力が衰えていたり、膝に痛みがある場合には、机に手をつけて行ってください。

編集後記

平成29年度優良介護サービス事業所「かながわ認証」をリフシア柳島(小規模多機能型居宅介護)が受賞しました。これは、介護サービスの質や人材育成、処遇改善等一定の水準を満たしている事業所に対し認証する神奈川県を取り組

みです。(3月19日の授賞式、写真左:加藤所長と写真右:福嶋主任)

次回夏号(8月15日発行予定)編集室では皆さまからの投稿や挿絵など募集しています。





リフシアフェスタで地域に情報を発信

超高齢社会を迎え、健康・介護への関心は確実に高まっています。今年のテーマは「長寿社会をイキイキと暮らす知恵」。沢山の方に参加いただきました。(1面からつづく)



気になる講座だけ参加できるハッピーライフカレッジは毎回大盛況でした



毎日の食事は健康な生活を送る上でとても大切です。栄養士に相談できる身近な環境づくりが出来ればと、高齢者向けの食事を作るリフシアネットタンポポは、試食コーナーで介護食や嚥下調整食の紹介をしました。

リフシアの健康呼ぼう事業でお馴染み原田和巳氏(理学療法士)のハッピーらいふカレッジで、アナログゲームの体験や、体組成計で体脂肪・筋肉量・推定骨量などを測定する健康管理に役立つコーナーもありました。



体組成計で体のバランスチェックをする参加者



さまざまな心配ごとに地元で活躍する専門家がお応えしました



相談コーナーは、地元の司法書士、相続診断士、社会保険労務士、一級建築士、ケアマネジャーがそれぞれの相談者に丁寧に時間をかけてお話しする姿がありました。

相談コーナー協力会社
■司法書士法人 前川・豊岡事務所 ■社会保険労務士法人 プレイン
■株式会社 洋建築企画 ■大勝建設株式会社

特集

定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは



定期訪問ではどのような介護を依頼出来ますか？



従来の訪問介護は訪問と訪問の間を2時間以上あけなければなりません。その制約がないので、トイレの介助、洗顔・歯磨き、着替え、食事の配膳・下膳、服薬、点眼など1日複数回に分けてケアを受けることが出来ます。その人の生活に合わせて短時間で何度も訪問を受けることができます。家族が仕事で遅くまで一人になってしまう人や高齢者世帯に使い勝手がよいと思います。



病院から退院したばかりで、自宅の生活が心配です



そういう方は、最初に手厚いサービスを受けて徐々にプラン変更し、生活が安定したら、デイサービスなど他のサービスを併用するなど、その方の変化に合わせた利用調整ができます。



サービスを利用したい時にはどうすればいいですか？



私たちケアマネジャーにご相談ください。但し、要支援の方と原則茅ヶ崎市に住民票のない方は利用できません。(地域密着型サービス)



料金は訪問回数で違いますか？



料金は1ヶ月の包括報酬で、要介護ごとに違う定額となります。これから益々需要が伸びる、注目したいサービスのひとつです。

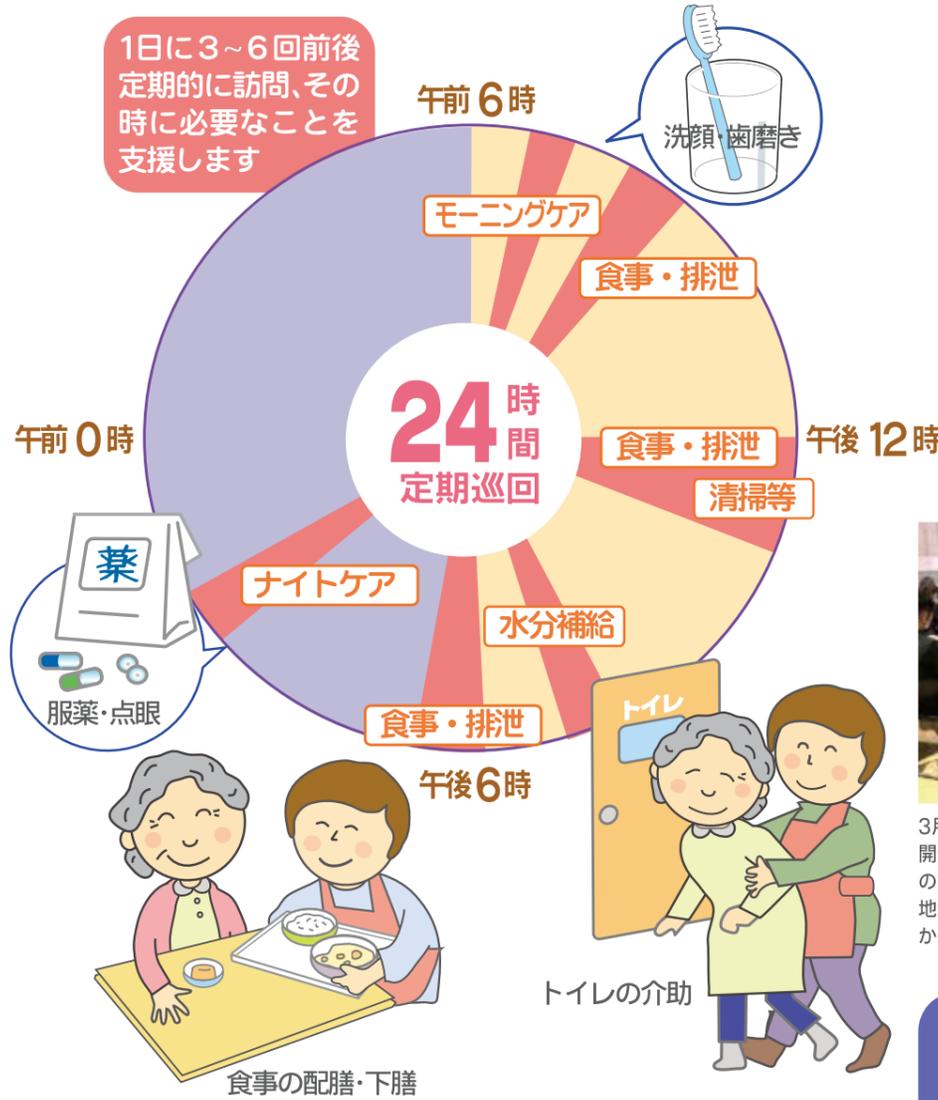
私たちと24時間通信機器でつながるので在宅介護も安心いただけます。お客様の様子が気になったら、臨機応変に訪問時間や回数を変更して対応します。サービスのことは私たちにご相談ください！

定期巡回・随時対応型訪問介護看護
リフシア浜之郷
☎0467-59-3000

熊本所長(写真右)とリフシア浜之郷スタッフ



1日に3~6回前後定期的に訪問、その時に必要なことを支援します



午前6時

午後6時

午後12時

午前0時

モーニングケア

食事・排泄

食事・排泄

清掃等

ナイトケア

水分補給

食事・排泄

トイレ

トイレの介助

食事の配膳・下膳

助けが必要になったらどうすればいいですか？

24時間専門のオペレーター(国家資格をもつ介護福祉士など)に連絡して訪問介護員を呼ぶことが出来るのも大きな特色です。



緊急通報



通報用の機器は購入するのですか？

いいえ、緊急時の呼び出しコールは事業者の負担で設置します。

一人暮らしの高齢者や、医療が必要な介護の方が出来る限り自宅で生活が続けられるサービスとして期待される「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が4月から茅ヶ崎市のリフシア浜之郷でも始まりです。神奈川県では横浜市や川崎市で普及が進んでいますが、あまりよく知られていないので、介護保険に詳しいケアマネジャーにお話を伺いました。



3月14日茅ヶ崎市のコミュニティホールに於いて開催した「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の勉強会。遅い時間にもかかわらず、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などから100名近い参加がありました。

ケアプランリフシア浜之郷の管理者、中里です。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は、1日に複数回、日常生活上のケアが受けられる定期訪問と、家族や本人から通報があれば24時間相談ができ、必要に応じて随時対応する訪問、看護師が訪問して療養上のお世話や必要な診療の補助などを行うサービスです。国が「地域包括ケア」として力を入れている在宅で、24時間切れ目なく医療や介護を受けることが可能になるサービスです。

